

第6章 食生活をつくる

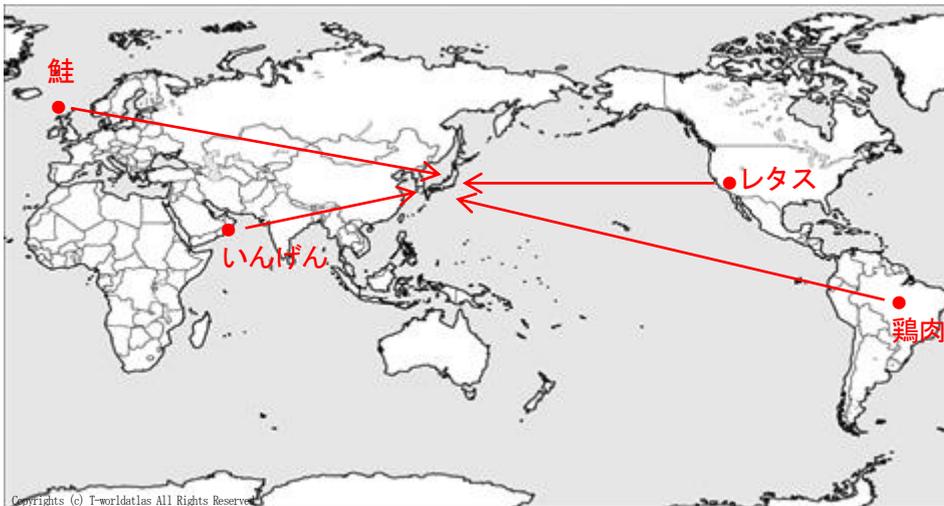
年 組 番

⑦ フード・マイレージを通して見る私たちの食生活

名前

1 今日の朝食の内容を思い出して書き出そう。その中で国産の食材はいくつあるだろうか。

2 コンビニエンスストアの幕の内弁当「鮭、唐揚げ、レタス、いんげん」の材料の産地を考えよう。



| | |
|----------|-----------|
| 鮭 輸入国 | |
| フェロー諸島 | 22,000 km |
| 鶏肉 輸入国 | |
| ブラジル | 23,700 km |
| レタス 輸入国 | |
| 米国サリナス | 8,300 km |
| いんげん 輸入国 | |
| オマーン | 7,800 km |

1つのコンビニ弁当にかかる食材の総移動距離…地球4周分

フード・マイレージ

食料の輸送量に輸送にかかった距離を掛け合わせて得られる指標のこと

計算方法

食料の輸送量 (t) × 輸送にかかった距離 (km)

フード・マイレージの考え方

- ①重いものを短い距離運ぶのと、軽いものを長い距離運ぶのではフード・マイレージは同じになる。
- ②フード・マイレージが高いということは環境に対する負荷が高いということ。つまり大量の CO₂ を輸送時に排出するため。
- ③輸送手段に飛行機、トラック、列車や冷凍・冷蔵システムを利用することにより CO₂ の排出量が増加する。

3 コンビニ弁当が外国産の食材を使う理由を考えよう。

例：人件費が安いので、食材の価格も安い。

4 フード・マイレージから見える食生活の問題を整理しよう。

○問題点はどこか。

例：長距離を運ぶことで CO₂ の排出量が多くなり、環境に負担をかける。

○解決方法は何か。

例：地産地消を心がける。

○今日から自分達にできることはあるか。

例：地域の特産物を知り、購入するよう心がける。